

# みやざき人権教育 フォーラム 2019

Human Rights Education

宮崎県と宮崎大学教育学部が連携して開催しているこの「みやざき人権教育フォーラム」も今年で3年目を迎えます。この間、人権を巡る社会状況は大きく揺れ動いています。世界的には、2017年にハリウッドを中心に始まった「#MeToo運動」が広がり、最近では有名ブランドのデザイナーが人種差別に当たるとの批判が出るようになりました。国内においては2016年に「部落差別の解消の推進に関する法律」（通称「部落差別解消推進法」）が公布・施行されましたが、この法律は現在でも部落差別が存在することを明記しています。これらの出来事は、現代においてもなお、我々が解決しなければならない問題が存在していることを示すと同時に、これまで表面化していなかった（つまり、隠されてきた）人権の問題が顕在化してきていることを示しています。

このような状況の中、宮崎県内の各大学においてはすでに、今後の社会を担う学生たちが人権問題に積極的に関わり、課題解決に取り組む活動を様々な形で支援してきました。今回のフォーラムではそのような学生たちの活動の報告をするとともに、これらの活動を社会にどう定着させ、発展させていくかを模索したいと思います。差別をなくすためには、多様性を認め、互いに尊重する態度が必要となります。このようなダイバーシティの観点が今後の社会においてますます重要となることを踏まえながら、参加者の皆さんと共に人権について考えていきたいと思います。

12:20

受付開始

13:00

開会行事

13:10

趣旨説明

椋木香子（宮崎大学大学院教育学研究科教授）

13:20

学生による発表

①「オーストラリアの子どもを取り巻く状況と人権教育」

（宮崎大学教育学部教職実践基礎コース）

②「みんなで考える災害避難所」

（宮崎大学教育学部発達支援教育コース特別支援教育専攻）

③「ラブ・トーク～恋愛・結婚から考える共生社会～」

（宮崎大学教育学部発達支援教育コース特別支援教育専攻）

④「LGBTQについて学生とともに考える」（宮崎国際大学虹色カフェ）

⑤「子どもの貧困～学生による取り組み～」

（宮崎公立大学人文学部）

14:20

休憩

14:30

クロストーク

進行：清水鈴代（宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室副室長）

登壇者：椋木香子（宮崎大学大学院教育学研究科教授）

四方由美（宮崎公立大学人文学部教授）

笠井綾（宮崎国際大学講師）

永山昌彦（宮崎市自立支援協議会会長）

15:30

ポスターセッション

（上記発表グループ5つに加えて）

①「ひまわりキャンプ」の取り組み（宮崎大学医学部学生）

②「リプロダクティブ・ライツ」の取り組み（宮崎公立大学学生）

③「夫婦間での衡平な育児負担をどう考えるか」

（宮崎大学地域資源創成学部学生）

④「宮崎県人権・同和教育研究協議会」の取り組み

（宮崎県人権・同和教育研究協議会）

16:15

閉会行事

16:20

閉会

2019年8月3日[土]13:00-16:20

場所

宮崎大学 330 記念交流会館  
コンベンションホール

参加無料

定員 200 名：事前申し込みにご協力ください。2019年7月31日(水)まで

申込先：宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター（〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1）

✉ [hkoba@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:hkoba@cc.miyazaki-u.ac.jp)

☎ Fax.0985-58-5287